

被災地支援に貢献 厚労相から感謝状

札幌の2団体

東日本大震災の被災地支援活動をしているNPO法人ホップ障害者地域生活支援センター（札幌）と社会福祉法人札幌協働福祉会（同）に田村憲久・厚生労働相から感謝状が贈られ23日、札幌市役所で伝達式が行われた。



感謝状を手にするホップの竹田保代表理事（左）と札幌協働福祉会の森克之理事長

ホップは、震災直後に宮城県石巻市に職員

を派遣し、紙おむつなど障害者向け支援物資を提供したほか、高齢者の買い物や通院の支援をしている。札幌協働福祉会は、放射能が不安で外遊びをためらう福島県の小中学生を夏休みや冬休みに道内に招待している。

瀬川誠・市障がい保健福祉担当局長から感謝状を受け取ったホップの竹田保代表理事（53）は「これを契機に、さらに障害者や高齢者の支援に励みたい」。

札幌協働福祉会の森克之理事長（65）も「被災地の子どもたちに喜んでもらえるよう、取り組みを続ける」と話した。